

主要業務報告

平成15年9月16日

農林水産技術会議事務局

平成15年度第4回農林水産技術会議の概要

1. 日 時 平成15年7月22日(火) 14:30~16:30

2. 場 所 農林水産技術会議委員室

3. 出席者

齋会長、鈴木委員、佐々木委員、佐藤委員、榊委員
坂野技術総括審議官、石原事務局長、吉田研究総務官、石毛研究総務官、
臼杵総務課長 ほか

4. 議 題

- (1)(独)農業・生物系特定産業技術研究機構中期目標(案)について(決定)
- (2)プロジェクト研究等の事前評価について(決定)
- (3)農林水産研究開発レポート「地球温暖化の防止に関わる森林の機能」について(決定)
- (4)国際農業研究の推進方針の検討状況について(報告)
- (5)総合科学技術会議をめぐる動き等について(報告)

5. 配布資料

- 資料1 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構中期目標(案)について
- 資料2 プロジェクト研究等の事前評価について
- 資料3 農林水産研究開発レポート「地球温暖化の防止に関わる森林の機能」
- 資料4 国際農業研究の推進方針の検討状況について
- 資料5 総合科学技術会議をめぐる動きについて

6. 議事概要

- (1)(独)農業・生物系特定産業技術研究機構中期目標(案)について(決定)

本年10月1日発足予定の独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構の中期目標について審議の上決定された。

なお、今後の調整において内容にかかる大きな修正等がなされる場合にあっては、再度審議することとされた。

(2) プロジェクト研究等の事前評価について (決定)

平成 1 6 年度予算要求において新規又は拡充要求を予定している研究制度及び研究課題の適否等を判断するための事前評価について、評価専門委員会の評価に基づいて、審議の上決定された。

【主な意見等】

実際の研究の立ち上げの際には、評価結果を反映した制度設計、研究内容とすべき。

(3) 農林水産研究開発レポート「地球温暖化の防止に関わる森林の機能」について (決定)

平成 1 5 年度最初の研究開発レポートとなる「地球温暖化の防止に関わる森林の機能」について審議され、所要の修正をした上で発刊することが決定された。

【主な意見等】

京都議定書における森林の二酸化炭素吸収の考え方は、1 9 9 0 年以降、適切な森林施業 (植栽、下刈、除伐・間伐等の行為) が行われていることであり、ただ森林があればよいというものではない。そのことを明確に示すように、明記すべき。

今回のレポートは各方面に関心の高い分野であり、関係する研究者、林業関係者のみならず幅広く配布すべき。

(4) 国際農業研究の推進方針の検討状況について (報告)

戦略性、総合性、効果・効率性を確保した国際農業研究等を推進するため、本年 2 月から検討を行ってきたが、国際農業研究等の進め方について、7 月の検討会で中間取りまとめについての報告がなされた。

【主な意見等】

人材の養成、特に現地でのコミュニケーションが重要である。特殊言語等を含め語学トレーニングの仕組みを充実させるべき。

国際研究を推進するための人材は不足しており、どう育てるかが課題。若手の教育に力を入れる必要がある。9月の最終とりまとめに向けて、さらに検討が必要。

(5) 総合科学技術会議をめぐり動き等について(報告)

総合科学技術会議評価専門調査会本年の月に実施した農林水産省の「新技術・新分野創出のための基盤研究推進事業」を含む競争的研究資金制度の評価について、その評価結果が出されたことから、これについて報告がなされた。

以 上

特段の報告事項

1 平成15年度国際農業研究機関連絡・協議会の結果について(別添1参照)

(1) 日 時：平成15年8月4日 13:30～15:40

(2) 場 所：技術会議委員室

(3) 出席者：CGIAR等各理事、世界銀行東京事務所、外務省国際機構課、
農林水産省国際部国際協力課、農林水産技術会議事務局長、
研究総務官、国際研究課長他

(4) 概 要：

国際農業研究を効率的・効果的に推進することを目的とした「国際農業研究機関・連絡協議会」の設置について承認された。また、会長として東国際とうもろこし・小麦改良センター理事、副会長として大賀国際イモ類研究センター理事が全員一致で選任された。

外務省よりODA予算をめぐる厳しい状況、CGIAR拠出金の配分の考え方等について説明があり、また、理事にはこまめな情報提供を求める依頼があった。

CGIARセンター等各理事より予算、人事、研究内容などに関する情勢報告がなされた。

CGIARセンター等各理事からは、外務省の拠出金の大幅削減等に関する意見が出された。今後はこの協議会を活用し、関係者が積極的に意見交換していくことが合意された。

2 平成15年度農林水産省農作物新品種命名登録(第1回)(別添2参照)

7月29,30日に開催した平成15年度農林水産省農作物新品種命名登録評価検討会(第1回)の意見を踏まえ、平成15年9月5日付で農作物新品種の命名登録を行った。

今回は、

- ・耐倒伏性が強く極良食味の水稲「さきひかり」
 - ・北海道向け初の秋播パン用小麦「キタノカオリ」
 - ・大いもで調理特性に優れ、シストセンチュウ抵抗性の馬鈴しょ「アイユタカ」
- など、独立行政法人及び指定試験地が育成した15作物29品種を登録した。